

みんなで作るみんなのための行政区

三好丘あおば行政区誕生

町内で25番目となる三好丘あおば行政区の設立総会が3月9日、東海学園大学講堂で開催されました。行政区設立までの経過報告や議案の審議などが行われたこの会には、区内の225世帯が出席。4月1日より新区長になる小島茂さんは「みんなでつくる、みんなのための行政区をキャッチフレーズに頑張ります」と力強く区民に訴えていました。なお区域は、福谷字広久伝と福谷字大沢の一部で、3月1日現在の区民は677世帯2,033人です。



さっそく庭に植えます

記念樹の配布・緑と花フェスタ

三好町では、結婚や出生、新築遷居の記念をお祝いしようと、毎年記念樹をその該当者に配布しています。今年は、3月15日に皆さんの郷のふれあい広場で、緑化や農業に対する理解を深めていただく催し・緑と花フェスタと同時に開催を行いました。配られた記念樹は、センリョウ、マンサク、ムラサキシキブ、キンモクセイ、ハナズオウの5種類。結婚の記念にセンリョウを受け取った夫婦は「記念にさっそく庭に植えたいと思います」と話していました。



真心をお届けします

真心弁当のプレゼント

商工会女性部の35人が3月12日、一人暮らしのお年寄りに届ける真心弁当を中央公民館で作りました。お年寄りを元気づけようと21年前から行われているこの事業。会員らは、見た目も美しく、食べやすいようにしようと工夫しながら調理と盛り付けを進めていました。女性部長の安藤和枝さんは「皆さんが毎年楽しみにお弁当を待っていてくれます。やりがいがありますね」とほほ笑んでいました。なおお弁当は、95人のお年寄り宅に届けられました。



無限の可能性に立ち向かう

卒業記念猿投山ラリー

南部小学校の6年生55人が3月14日、卒業を記念して学校から豊田市の猿投山まで歩き、猿投山に登る猿投山ラリーに挑みました。これは、卒業を控え無限の可能性に立ち向かおうと昭和58年から続けられている同校の恒例行事。およそ20キロの道のりを、4時間30分ほどかけて歩ききり、その後の猿投山登山も全員が成し遂げました。「この経験があるから、中学校に入学しても、どんなことでも頑張れそうです」と正木秀典君は、元気いっぱい話していました。



親子で楽しみました

卒園児を祝う会

4月に小学校に入学する園児とその親を招いて3月15日、総合体育館で卒園児を祝う会が開かれました。親子で一緒に遊ぶことで、卒園の記念になればと毎年行われているこの催し。親子400人が参加し、親が四つんばいになり、その下を子どもがくぐるゲームや親子がばらばらに離れ、その後それぞれを捜す遊びなどを楽しみました。参加した父親の一人は「久しぶりに体を動かして疲れましたが、子どもの笑顔が見られてよかった」と目を細めていました。



お互いが尊重し認め合う社会を

みよし男女共同参画プラン策定記念事業

男女共同参画社会について考える討論会と女優の岸田今日子さんの記念講演会が3月15日、サンアートの開催されました。これは、みよし男女共同参画プラン「パートナー」の策定を記念し、男女共同参画社会の実現へ向けて、理解を深めていただくこと行われたもの。討論会では「男性の意識改革が必要。男女がお互いに尊重し、認め合うことが大切」などの意見が発表され、会場を訪れた女性は「お互いを理解し合うことが必要ね」と耳を傾けていました。

